

2013年6月 経済学部特待生表彰式 学部長挨拶

皆さん、特待生受賞おめでとうございます。

今回特待生を受賞した人数は、経済学科で各学年6～7名、産業経済学科では3名です。経済学科は1学年約650名、産業経済学科は約200名ですから、各学科とも上位約1%の成績優秀者しか特待生にはなれません。大変な狭き門であり、したがって、受賞は大変な榮譽であると言えます。親御さんは、この孝行息子、孝行娘をぜひ褒めてやってください。

特待生になるためには、おそらく全ての受講科目において、徹底的に勉強をする。分からないところを徹底的に洗い出して、試験までに完全に理解しておくということをなさったと思います。中には難解な講義もあり、「このくらいでいいか」と妥協したくなったこともあるかもしれませんが、妥協せず、すみずみまで徹底的に勉強しつくしたことが受賞につながったと思います。その感覚を是非忘れないでいてください。それを生活の基本として生涯つづけて行って欲しいと思います。

社会に出て成功するための秘訣はABCであると言われています。あたりまえのことを、バカみたいに、ちゃんとやる。おそらく皆さんは、実感としてこれがよくわかると思います。もっとも、皆さんの場合は、MDCかもしれません。むずかしいことを、妥協せずに、ちゃんとやる。大きなことを成し遂げることは、日々の生活の態度、小さな1つ1つのことにまじめに取りくむとことだということを忘れないでいてほしいと思います。賞金もありがたかったかもしれませんが、それは親御さんにあげて、このきちんとやる感覚を味わえたことを財産として欲しいと思います。

では、これから表彰状をお渡しします。